



2016年2月4日

各 位

会社名 伊藤忠商事株式会社
代表者名 取締役社長 岡藤 正広
(コード番号 8001 東証第一部)
問合せ先 IR 室長 中島 聡
(TEL. 03-3497-7295)

ブラジル鉄鉱石事業に係る損失処理について

ブラジル鉄鉱石事業の運営・管理を目的に国内製鉄会社と共に設立した日伯鉄鉱石株式会社(連結子会社、以下、「日伯鉄鉱石」という。)に対する当社の投資について、2015年度第3四半期に下記の通りの損失処理を行うこととなりましたので、お知らせします。

記

1. 損失の内容

2015年11月30日に日伯鉄鉱石が保有するブラジルの鉄鉱石生産・販売会社である Nacional Minérios S.A. (以下、「NAMISA社」という。)の株式と、NAMISA社の親会社であるブラジル鉄鋼大手 Companhia Siderúrgica Nacional が保有する Casa de Pedra 鉱山及び鉄道会社株式・港湾使用权との資産統合手続が実行されました。日伯鉄鉱石においては、NAMISA社投資が持分法投資から新統合会社への一般投資と変更になることに伴い、当該株式の再評価を実施し損失を認識した結果、当社の日伯鉄鉱石に対する投資についても毀損致しました。これにより当社単体決算及び連結決算において下記の損失処理を行うものです。

2. 当社決算への影響額

(1) 単体決算

2015年度第3四半期において日伯鉄鉱石に対する投資の毀損に係る特別損失(関係会社等事業損失)として、422億円を計上致しました。(「当期純利益」に対する影響額も同額)

(2) 連結決算

上記投資の毀損の一部は、過年度決算において既に減損損失等で認識済みのため、2015年度第3四半期の追加損失としては、44億円の計上となりました。

なお、2015年度第3四半期累計期間の日伯鉄鉱石からの取込損失は、2015年度第2四半期までのNAMISA社における外貨建資産に係る為替換算を主因とする取込利益等と合せ、8億円(損失)となりました。

3. 2016年3月期の通期連結業績見通しについて

2015年5月1日に公表した「当社株主に帰属する当期純利益」の通期見通し3,300億円に変更はありません。

以 上